

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号

201

江戸川区立小松川中学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差			
学年	第3学年		
年度	国語	数学	合計
令和12年度の目標	+1.0	+1.0	+2.0
令和11年度の目標	+1.0	+1.0	+2.0
令和10年度の目標	+1.0	+1.0	+2.0
令和9年度の目標	+1.0	+1.0	+2.0
令和8年度の目標	+1.0	+1.0	+2.0
令和7年度の結果	+1.0	+1.0	+2.0
令和6年度の結果	+0.369	+0.491	+0.86
令和5年度の結果	+0.412	+0.441	+0.853

「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差						
学年	第1学年			第2学年		
年度	国語	数学	英語	国語	算数	GTEC(ｽﾌﾟ)
令和12年度の目標						
令和11年度の目標						
令和10年度の目標						
令和9年度の目標						
令和8年度の目標	+0.7	+6.5	+8.6	+2.6	+4.6	460
令和7年度の結果	+0.7	+6.5	+8.6	+2.6	+4.6	456.5
令和6年度の結果	+1.2	+0.4	+1.3	+0.6	+4.5	
令和5年度の結果						

年度	令和7年度	令和8年度
内容	成果と課題	目標
学校全体	<p>【成果】全国学力調査、江戸川区学力調査共に、全ての教科で全国平均を上回った。日々の落ち着いた学校生活や授業の成果の表れであると思われる。</p> <p>【課題】各教科それぞれ、東京都の平均、江戸川区の平均までもう一息の領域がある。A～D層の差が大きいことから、CD層を少なくしていくための指導が必要である。</p>	<p>目標達成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習に取り組める環境を維持するため、授業規律を徹底する。 ・「わかる授業」「楽しい授業」を推進するために、校内で授業を見合ったり等、お互いの授業を高め合う努力をしていく。 ・CD層を支える補習教室等（EDOスクや各学年、各教科で適宜行う）を工夫して行い、CD層を減らしていく。 ・基礎的な力をつけるためにミライシードを活用する。
第1学年	<p>江戸川区学力調査より</p> <p>【成果】（国語）正しく文節や単語に分ける問題（文法）の正答率が全国平均より高く、知識の確実な定着が見られる。</p> <p>（数学）ほとんどの問題において全国平均、区平均よりも上回ることができた。</p> <p>（英語）ほとんどの問題で全国平均・江戸川区平均よりも上回ることができた。</p> <p>【課題】（国語）「聞くこと」の問題の正答率が全国平均を大きく下回った。文学的な文章の設問や記述問題において、A層とD層の差が大きい。</p> <p>（数学）方程式の利用についての問題で、当てはまるものを答える問題で、全国・区の平均を下回った。多くの観点でA-D層の差が大きいことが課題である。</p> <p>（英語）「英文から必要な情報を読み取る」「語句や英文の正確な記述」で江戸川区平均を少し下回った。「語句や英文の正確な記述」「日常的な場面に応じた英文記述」の問題で特にA-D層の差が大きい</p>	<p>（国語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等でリスニング問題を実施するなど、日ごろから慣れていく。 ・話し合いや協同学習を多く取り入れて、全体的な底上げを図る。 ・定期考査で作文を出題するなど、書く機会を増やす。 <p>（数学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C層、B層を引き上げるために、トライなどの放課後補習教室への参加を促す。 ・D層は基礎的な知識・技能の定着のため、放課後補習を適宜行う。 ・グループワークを通して条件整理などの問題を考えさせる機会を増やす。 <p>（英語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英単語や英文を正確に書くことにさらに力を入れていく。 ・様々な形態の文章を読んで要点をとらえる学習を継続的に無理なく続けていき、力を伸ばしていく。
第2学年	<p>【成果】（国語）すべての観点、領域において全国平均・区平均を上回ることができた。</p> <p>（数学）すべての観点、領域において目標値に達することができた。A層～D層の正答率の差が大きいので、CD層の引き上げが課題である。</p> <p>（英語）すべての観点、領域において目標値を上回ることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>（国語）漢字の書きや文法など、基礎的な知識が問われるものにおいて、A～D層の差が大きい。</p> <p>（数学）A層～D層の正答率の差が大きいので、CD層の引き上げが課題である。</p> <p>（英語）A層～D層の正答率の差が大きいのでCD層の引き上げが課題である。</p>	<p>・落ち着いた学習に取り組める環境を維持しながら、「わかる授業」「楽しい授業」を推進し、全体の学力向上を目指す。AB層をさらに引き上げ、CD層を支える補習教室等を工夫して行い、CD層を減らしていく。</p> <p>・江戸川区学力調査で、全国平均を上回るとともに、各教科各分野で江戸川区の平均を上回ることを目指す。</p> <p>・全国学力調査で、全国平均を上回るとともに、各教科各分野で東京都の平均を上回ることを目指す。</p> <p>（国語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CD層の生徒が基礎的な知識を身に付けるために放課後補習教室を実施する。 ・生徒の苦手とする部分を明確にして補習教室等を行う。 <p>（数学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C層、B層を引き上げるために、トライなどの放課後補習教室への参加を促す。 <p>（英語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英単語や英文を正確に書くことにさらに力を入れていく。 ・様々な形態の文章を読んで要点をとらえる学習を継続的に無理なく続けていき、力を伸ばしていく。
第3学年	<p>全国学力調査より</p> <p>【成果】全ての教科で目標値を上回ることができた。</p> <p>【課題】（国語）「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国平均は上回ったが、東京都の平均を少し下回った。</p> <p>（数学）ほとんどの内容で全国平均を上回ったが、東京都平均までもう一息である。</p>	<p>（国語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等でリスニング問題を実施するなど、日ごろから慣れていく。 ・読書の時間やよむYOMUワークシートを活用し、読む力の向上を図る。 <p>（数学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C層、B層を引き上げるために、トライなどの放課後補習教室への参加を促す。 ・グループワークを通して条件整理などの問題を考えさせる機会を増やす。 <p>（英語）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英単語や英文を正確に書くことにさらに力を入れていく。 ・様々な形態の文章を読んで要点をとらえる学習を継続的に無理なく続けていき、力を伸ばす。